

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会 第1回啓発活動部会結果

第1回啓発活動部会では、部会長及び副部会長を選出し、今後この部会で取り組む事柄について確認しました。また、平成19年度の取り組みについて検討を行いました。

そして今回の結果については、7月に開催される推進協議会で啓発活動部会からの事業提案として、提案していくことが確認されました。

1. 部会で取り組む事柄について

次に掲げる三者の取り組みについて検討を行います

ごみ減量キャンペーンの実施について

内容の検討や会場の選定、関係団体との調整、当日の人員の確保などを行います。

区民・事業者・区による三者の意見交換会の実施について

内容検討や会場の選定、出席者の人選や依頼などを行います。

ごみ減量の日取り組みの検討・提案について

取組み内容の検討や区民団体、事業者への提案を行いごみ減量の日普及拡大を図ります。

2. 検討結果（平成19年度の取り組みについて）

（1）ごみ減量月間の実施について

ごみ減量月間では、三者の協働によりごみ減量・リサイクル推進のためのPRを行います。具体的にはごみ減量キャンペーンとして、区民が身近にごみの発生抑制に取り組むことができる、買物時のマイバッグ持参キャンペーンを展開し、区民の主体的な行動によるごみの減量を促進します。

また、アンケートを実施することで、区民のごみ減量意識を把握し、今後の推進協議会の活動の参考にします。実施に当たっては、商店街や大型店等のイベントにあわせての実施や、産業フェア等の機会を活用して、ごみ減量やリサイクルの推進を呼びかけていきます。

街頭キャンペーンの実施内容について

昨年度の実施地区を含め、新規で1商店街を追加した15会場で実施予定します。

また、キャンペーンではマイバッグの利用促進を図るために、マイバッグの配布だけでなく、マイバッグの利用促進を積極的に行うキャンペーンとしていきます。そのため各実施会場においては、下記利用促進例などにより可能な範囲での協力を求めていくこととし

ます。

なお、新規の商店街については、買物ポイントの付与などの利用促進策の実施を検討している「高砂南町商友会」を会場とした調整を進めるものとします。

(利用促進例)

- ・買物ポイントの付与や福引などの抽選券(補助券)等の付与
- ・現金での還元
- ・商店会で作製するチラシによる利用の働きかけやレジにおける声かけ等

産業フェアへの参加について

10月19日(金)から21日(日)に行われる産業フェアに参加して、イベントやパネル展示等により推進協議会の取組みの紹介等を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図ります。

なおイベントの内容については、ごみの減量やリサイクルの推進を呼びかけるゲーム形式等により、子どもへの教育的効果も考慮します。

ごみ減量・清掃フェアへの参加について(新規)

これまで水元地区でのごみ減量キャンペーンの実施が無かったことから、10月7日(日)に葛飾清掃工場で行われる予定のごみ減量・清掃フェアへ新たに参加して、ごみ減量キャンペーンやパネル展示等を実施し、推進協議会の取組みの紹介等を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図ります。

ごみ減量キャンペーンにおける各団体への協力依頼

キャンペーンにおける人員等の協力や物品の提供等については、各団体へ協力を依頼していきます。

- ・人員等協力として、葛飾清掃協会、葛飾東清掃協会、葛飾区消費者団体連合会に対して、当日の従事を依頼します。
- ・キャンペーン会場の提供として葛飾区商店街連合会に対し、商店街でのキャンペーン会場の会場提供を依頼します。大型店には個別に依頼する。
- ・ポスター掲示
- ・店内、街頭放送(商店街、大型店)
- ・かつしかエフエムによるPR放送
- ・キャンペーン協賛物品の提供について、推進協議会参加団体及び企業に対して呼びかけます。なお提供を受けた区民団体や企業については、キャンペーンで配布するPR用チラシによって、ごみ減量に関する取組みを中心にPRしていく。

(参考)平成18年度キャンペーン実績

ごみ減量キャンペーン実施状況(実施会場・時期)

10地区14会場(四つ木地区については雨天により中止)

実施地区	実施会場	日程
高砂地区	千代田通商店会	10月7日(土)15時00分~
金町地区	金町末広商店会	10月7日(土)17時00分~
	金町しょうぶ通り商店会 金町とうきゅう	10月31日(火)16時00分~
新小岩地区	みのり商店会	10月14日(土)15時00分~
	西友新小岩店	11月5日(日)16時00分~
立石地区	立石仲見世共盛会	10月27日(金)15時00分~
お花茶屋地区	お花茶屋商店街	10月28日(土)15時00分~
柴又地区	柴又親商会・柴又中央会	11月4日(土)15時00分~
青戸地区	青戸銀座商栄会	11月5日(日)14時00分~
亀有地区	亀有地区商店街協議会	11月18日(土)14時00分~
	イトーヨーカドー亀有駅前店	11月5日(日)16時00分~
堀切地区	堀切商店街堀切2-1	11月17日(金)15時00分~
四つ木地区	まいろーど四つ木商店街	11月19日(日)13時30分~

産業フェア参加状況

テクノプラザで開催された産業フェアに参加し、買物体験ゲーム「エコエコショッピング」や「25%ごみ減量体感コーナー」を行い、ごみの減量を呼びかけた。

参加者数 エコエコショッピング 延2,184名

実施時期 平成18年10月20日(金)から22日(日)

キャンペーンにおける物品の提供

団体	内容
かつしか異業種交流会	マイバッグ
株式会社タカラトミー	おもちゃ各種
ミヨシ油脂株式会社	ノート
森永乳業株式会社東京工場	パック飲料
レンゴー株式会社葛飾工場	水切りごみ袋、マイバッグ

キャンペーン従事依頼

葛飾清掃協会の会、葛飾東清掃協会の会、葛飾区消費者団体連合会

アンケート結果(アンケート協力者総数 2,934名)

今後の「かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会」の取り組みに対する要望としては、「事業者による自主的な活動の促進」や「地域における自主的な活動の促進」「資源の集団回収活動の促進」といった自主的な活動の推進を望む声がそれぞれ約半数を占め、引き続き事業者や区民団体の積極的な取り組みが求められている。

今後のごみ減量月間について

ごみ減量月間におけるマイバッグ利用促進を中心としたごみ減量キャンペーンの実施については今年で5年目となり、キャンペーン時に行っているアンケート結果から見ても、発生抑制やマイバッグの利用の必要性について理解を示している区民も4割を超えるなど、一定の成果はあがっていると思われます。

マイバッグの利用促進策やごみ減量月間におけるマイバッグの配布に代わる新たな取組について、今後他の市区町村の団体や企業、行政などの取組を参考にしながら、次回以降検討していくこととしました。

(2)「ごみ減量の日」の推進について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成18年11月5日から毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組み内容を示し、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っています。今回は今年度の具体的PR方法や平成19年10月以降の取り組み内容について検討しました。

平成19年度「ごみ減量の日」のPR実施

「かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会」では、平成18年11月5日から毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組み内容を示し、ごみ減量キャンペーン時等での効果的なPRを行い、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っています。今年度についても様々な機会をとらえたPRを展開し引き続き活動の推進を図ります。

・区民向けPR

自治町会連合会作成の回覧板(年2回作成)にてのPRを行います。

・事業者向けPR

事業者向けチラシ(年2回作成)を利用したPRを行う。チラシの裏面を店内や事業所内に掲示できるポスター形式とし、それを掲示することで、区民へのPRにもつながるものとします。

・ごみ減量キャンペーンでのPRについて

10月又は11月の「ごみ減量の日」前後に行うごみ減量キャンペーンについては、会場にてパネルの展示などを行い、「ごみ減量の日」のPRも併せて実施していきます。

・その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行います。更に毎月1日から5日までは区役所入口にのぼり旗を掲げ、来庁者に対してPR活動を行います。

平成 19 年 10 月から平成 20 年 3 月までの取り組み内容

(10 月のごみ減量月間に連動した取り組み内容としました)

区民の皆さんは ...マイバッグを利用しましょう

小売店の皆さんは...マイバッグの利用を推進しましょう

事業所の皆さんは...ごみと資源を正しく分別し、資源の有効利用を推進しましょう

(参考)過去の「ごみ減量の日」の取組み内容

平成 18 年 11 月から平成 19 年 3 月までの取り組み結果

区民の皆さんは ...マイバッグを持って買い物に行きましょう

小売店の皆さんは...マイバッグの利用を推奨しましょう

事業所の皆さんは...ごみと資源を正しく分別して、資源を有効利用しましょう。

平成 19 年 4 月から 9 月までの取り組み

区民の皆さんは ...水切りの徹底で生ごみの減量をしましょう。

小売店の皆さんは...容器包装の減量を進めましょう

事業所の皆さんは...再生品を積極的に利用しましょう

(3) 区民・事業者・区による三者の意見交換会について

平成 19 年度の意見交換会については、ごみの減量に向けた具体的な行動についてテーマを絞って意見の交換を行うため、昨年度に引き続き推進協議会参加メンバーにコーディネーターとして学識経験者を加えた参加者による意見交換会を開催します。

なお、基調講演及び意見交換会については、区民が聴講できるものとして聴講希望者を事前に募集します。

テーマについて

本年度中に各部会で話し合われている内容を元に、コーディネーターを中心に推進協議会委員が意見を交換する必要があると思われる内容を啓発活動部会にて検討し決定することとします。

実施時期について

第 10 回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会終了後に実施を予定します。

意見交換会進行

コーディネーター(学識経験者1名)の基調講演をもとに三者による意見交換を行います。

基調講演 (45分程度 コーディネーターによる基調講演)

意見交換会(1時間程度 ごみ減量に関する意見交換会)

(参考)平成18年度意見交換会実績

実施日 平成19年2月14日(火)*本推進協議会終了後開催
基調講演 (45分 コーディネーターによる基調講演)
意見交換会(1時間 ごみ減量に関する意見交換会)

テーマ ごみの減量は入口から...発生抑制を進めよう!
- 不要な包装を減らすために私たちが出来ること -

コーディネーター
藤村コノエ氏(NPO法人環境文明21専務取締役)

聴講者募集 推進協議会活動のPRの一環として聴講希望者を募集した。